

単
元
名

～調べたことを報告しよう～

みんなが過ごしやすい町へ

教科書出版社名（光村図書）

○ 小学校（ 5 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

- ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなど、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
- ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

- ・多くの資料から必要な情報を選んで引用することができる。
- ・自分でテーマを決めることができる。

○ 学校図書館等活用のポイント

- ・バリアフリーやユニバーサルデザイン関連の本や、大阪府の市町村のパンフレットから必要な情報を引用して書く、表現する。

○ 学習の展開（全8時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	<ul style="list-style-type: none">・目的に応じた引用の書き留め方について考える。・自分たちが住んでいる町や学校の身の回りの工夫を見つける。
第2次（☆）	<ul style="list-style-type: none">・身の回りの工夫からテーマを決める。・本やインタビュー、インターネット、アンケート、実地調査などから調べ方を選び、必要な情報を集める。・集めた情報や材料を整理し、報告文の構成を考え、引用文の書き表し方を知る。・報告文の下書きをして推敲する。・清書をして報告文を仕上げる。
第3次（☆）	<ul style="list-style-type: none">・報告文を読み合い、良いところを見つけ、感想を伝え合う。

(本時 8 / 8 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
報告文を読み合い、感想を伝え合って自分の文章のよいところに気づくことができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">報告する文章を友だちと読み合って、感想を伝え合おう</div> ・めあてを確認したうえで、自分の報告書を見直す。	
20	2. 友だちの報告書を読む。 ・友だちの報告書を読むときのポイントを確認する。 ①グループに分かれて、友だちの報告文を読み合う。 ・友だちの書き方の工夫や、初めて読む人にも伝わるポイントはどこかを見つけてワークシートに記入する。 ②グループで感想を伝え合い、交流する。 ③グループ以外にもクラスの児童の分を自由に読み合い、ワークシートに友だちの報告書の良さをまとめる。	・読む時には、これまで学習したことを根拠に、友だちの報告文のどこが工夫されているのか、わかりやすいのかを意識して読むことに留意するよう助言する。 ・できるだけ多くの友だちの報告書を読めるように、1人の報告書につき、4分間ずつ設定する。
10	3. 感想を全体で伝え合う。 ・友だちの報告文を評価し合い、全体で共有する。 「問題提示を用いたきっかけの書き方」や、「引用の書き方」、「まとめ方」、「図や表」など、どこがどのようによかったのかを伝える。	・調べた本から、「文章の内容」に合わせて引用しているか「引用をもとに、自分の考えが書かれているか」等を考えて確認する。
10	4. ふりかえりをする。 ・ワークシートにふりかえりを記入する。 ・社会や総合的な学習の時間にも本単元の学習活動で身に付けた力を活用できることを話し合う。	・本単元で身につけた力をふりかえり、確かめる。 「どんなことに気をつけて資料を引用したか」「調べたことや、考えたことが正確に伝わるよう、どのような工夫をしたか」「友だちの書いたレポートを読んで、どんなところをまねしたいと思ったか」などについて考えるよう観点を明示する。

図書館活用
ポイント